

# 現場レポート Vol.3

## ～米代川吹越地区堤防強化工事～

あけましておめでとうございます！連日の食べすぎ飲みすぎで体脂肪がきになるこだぬきですが、今年もよろしくお祈いします。忘年会、クリスマス、お正月とおいしいものをたべすぎてだいぶ肥えてしまいました(´)д(´) 軽く筋トレしつつ、これ以上丸くならないようにがんばって動きたいと思います。今年はや遅かったですが、寒さも厳しくなり、本格的に雪が積もってきました。インフルエンザと運転には、くれぐれも気をつけましよう(\*\_\*)



さて、第3回目の今回は、ちょうど能代河川国道事務所の対岸にあります「**米代川吹越堤防強化工事**」の現場に行ってきました！

暦のうえでは冬ですが、この日は天気がよくぽかぽかで、気持ちのいい日でした。まさにお散歩日和！でしたよ～(\*´`\*)

こちらの工事はおよそ東能代駅～向能代駅間におよぶ広い範囲の工事になります。

読んで字のごとく**堤防を強くする工事**なのですが、施工箇所はA、B、Cゾーンの3工区に分かれており、またそれぞれ違った方法で工事を行っています。

[Vol.2の外川原現場レポート](#)でも説明しましたが、その土地や場所にあった方法で工事しているんですよ～！

それでは、ひとつひとつ詳しく見ていきましょう～(・ω・)ノ

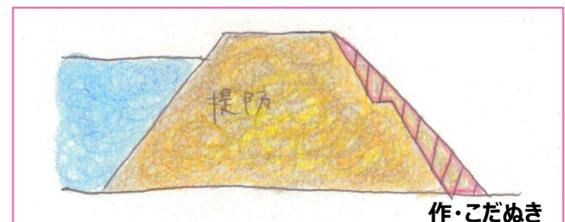
まずはAゾーンへ。ここは**腹付盛土**という方法を使います。今ある堤防の斜面に土を盛り付け、堤防をぶ厚くし強くします。

しかし！ただ土を盛り付けるだけではありません。堤防に新たに盛る土がしっかりとくっつくように、芝や生えている雑草をきれいに取り除きます。そして斜面に段差を付け、そこに土を盛っていきます。こうすることで、堤防と盛った土が一体となり、強い堤防になるのです！



こちら→が断面図になります～(へたっぴでごめんなさい)

ピンクの部分のように土を盛りつけ、堤防を厚くします(\*°з°)ノ



お次はBゾーン。こちらでは、**ドレーン工**という方法を使っています。

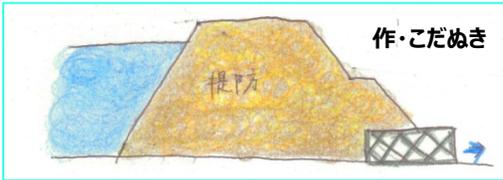
ドレーン工とは、堤防に染みだした水をスムーズに排水するための方法です。



堤防の下部分に大きめの石をパズルのようにすきまなく埋め込み、金網で固定します。その上から土をかぶせて完成です。

こうすることで、石の部分から排水ができるので水はけがよくなり、水が染みこんで柔らかくなった堤防が崩れてしまうのを防ぐことができます。

ことわざで言うなら、「柔よく剛を制す」というかんじでしょうか。笑



またまた手書きの断面図です！

網の部分から水がはけるような仕組みになっております(σ・▽・σ)

最後にCゾーンです！こちらはなんと、Aゾーンの**腹付盛土**と、Bゾーンの**ドレーン工**を組み合わせた、いとこどりの方法で工事をしています！

こちら→が実際の作業風景です。崩れないように、適度に水が流れるように、ひとつずつ石を積み上げ、金網で固定します。丁寧な仕事ぶりが光りますね～！



洪水時に堤防が崩れてしまうことももちろん怖いのですが、水が引いたあと、このようになったこともありました。こちら←は、平成 19 年 9 月の洪水での能代市扇田地区の被害の写真です。堤防の土がはがれて、崩れてしまっています。これでは堤防の効果はなくなってしまい、とても危険です。

今回の工事が完成すると、こういった被害も防ぐことができるようになるのだそうです！

現場のみなさんが一生懸命、丁寧に作った堤防は地域の方を守ってくれることでしょうね(人´▽`)

田中建設のみなさん、忙しいところ取材にお付き合いいただき、ありがとうございました～！！

さてさてお次は、遠出の予感がします！どこへいくのかは次回をお楽しみに～(\*´`\*)